



実家のおばあちゃんのように優しく子どもたちを見守る井出さん

乳幼児親子の交流手助け

井出サツミさん(67)

今治市玉川町鍋地

今治市シルバー人材センターが運営する「にっこ広場 おおきくなあれ」(今治市喜田村8丁目)のスタッフとして、週1回ペースで働いている。市の事業委託を受けた施設で、0歳からおおむね3歳までの乳幼児と保護者の交流の場だ。井出さんは12年間の保育所勤務を含む38年間の地方公務員生活を終え、ボランティアや

成長する姿楽しみ

地域活動で活躍。その行動力や保育士経験を買われ、2009年の施設開設時にスタッフとして誘いを受けた。自らも1男2女を育て上げ、最近近くに住む孫たちの世話をしている。にっこ広場でも「実家のおばあちゃん」になったつもりで親子と接している。広場は月々土曜日の午前10時〜午後4時、自由に利用できる。子育て経験豊かなスタッフが2人一組で見守り、一緒に体操したり、手作りおもちゃで遊んだりしてくれる。「安全な空間確保に努めながら、利用者同士が仲良くなれるよう配慮している」という。県外から転居した利用者には「知り合いもいなくて不安だったが、ここは家庭的な雰囲気ではかのお母さんと親しくなれた」と話す。井出さんは「お母さんと子どもさんから生きる力をいただき、経験が生かされている喜びに浸っている。子どもさんの成長を見るのが楽しい」とほほ笑む。